キャラクター名
浅井 沙織

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ノイマン	ワークス	UGN支部長B	カヴァー	警察
オプショナル		年齢	31	性別	♀
覚醒	犠牲	衝動	憎悪	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	敗北	邂逅	秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	0	1		1
感覚	0	1	0			1
精神	6	0	0	2		8
社会	2	0	0	1		3

HP	30
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	6	
運転：			芸術：			知識：ﾚﾈｹﾞｲﾄﾞ	1		情報：UGN	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：裏社会	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
大型拳銃	射撃	8r-1		5		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ウェポンケース	
思い出の一品	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
須山 陽香	P 遺志	N 劣等感		
”プランナー” 都築京香	P 傾倒	N 脅威		
ローザ・バスカヴィル	P 連帯感	N 不信感		
犬時間（ランブリングドーブル）	P 庇護	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 18	残り財産P： 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
戦術	7	6	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	視界	ｼｰﾝ(選択)	-	-	
効果： 対象のﾒｼﾞｬｰ判定に＋LvD(自身対象外)								
常勝の天才	7	6	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	視界	ｼｰﾝ(選択)	-	ﾋﾟｭｱ	
効果： 1シーン1回。攻撃力+[Lv*4](自身対象外)								
ファンアウト	2	4	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	範囲(選択)	-	-	
効果： 1シナリオLv回。対象は戦闘移動を行う。移動先は任意。効果拒否可能(自身対象外)								
コントロールソート	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	射撃	-	
効果： 【精神】での判定へ変更								
C:ノイマン	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果： C値-Lv(下限7)								
マルチウェポン	1	3	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	射撃	-	
効果： 武器の攻撃力合算。達成値-[5-Lv](最大0)								
暗号解読	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	-	-	
効果： 巧妙に隠された情報や暗号を見逃さない。必要なら適切な〈知識：〉で判定								
構造看破	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	参照	-	-	
効果： 人工的な構造物を瞬間に解析できる。必要なら適切な〈知識：〉で判定								
代謝制御	1	-	常時	至近	自身	-	-	
効果： 感情も含むあらゆる生理機能を制御できる。必要なら〈意志〉で判定								
ドクタードリトル	1	-	常時	至近	自身	-	-	
効果： あらゆる言語を操る。動物とも会話可。必要なら〈交渉〉で判定								
プロファイリング	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	-	-	
効果： 少しの情報から真実を導き出せる。必要なら適切な〈知識：〉で判定								
効果：								
効果：								

オーヴァードとして覚醒したのは10歳。孤児として世間から隔絶された世界で生きていた。
当時UGNチルドレンとして活動をしていた須山と知り合い、仲良くなる。
オーヴァードと人間が手を取り合って生きていける世界を夢見て戦っていると言った彼女は
住んでいた地域を襲ったFHセルの襲撃から浅井を守るためにその命を落とした。
命が消えていく中で彼女が遺した言葉は「彼らの事を恨まないであげて」
最期まで夢物語を語る彼女の想いを継ぐためにUGNチルドレンに志願した。
戦果を挙げて支部長へと昇進したその日、自分を遺して支部は壊滅させられた。
ゼノスと名乗る少数に手も足も出ずに蹂躙されていく仲間を見ているしかできなかった。
1人だけ生き残った彼女を責める者はなく、むしろ生きていて幸運だったとさえ言う者いる。
それ以来、仲間との距離間を取るようになった。厳しい指導で嫌われようが全ては彼、彼女達の命を守るため。
亡き親友から受け継いだ遺志はいつしか義務感へと変わり、実現のために必要な選別を行うようになっていった。
オーヴァードと人間が手を取り合う世界の構築の為、障害となるものはかつての仲間でも容赦なく切り捨てる覚悟を持っている。